

# 学校点描

終わりの会に合唱の音が響くようになりまして。10月28日の合唱コンに向けて各学級動き出しました。

《M中学校》

NO.12

R5. 10. 17

担当：校長

9月29日（金）にM上町総務企画課長が、来年度M上町町制70周年を記念してキャッチコピーとシンボルマークを募集し、M中生から応募した作品の審査結果を報告にいらっしやいました。役場内で投票による審査を行ったそうです。結果、キャッチコピーの最優秀賞にA・Nさん、優秀賞にM・NさんとA・Mさんの作品が選ばれました。シンボルマークは、最優秀賞にM・Yさんが、優秀賞にW・RさんとO・Mさんの作品が選ばれました。表彰は来年度の式典の中で行われるそうです。最優秀賞に輝いた2つの作品は、今後さまざまなチラシやポスター等で掲載されます。



『この自然と生きてゆく ずっとそばに 最上町』

作 A・Nさん

10月10日（火）は県立K産業高校からK・T先生が来校され、2年生の技術科の風力エネルギーの授業を行ってくれました。K先生は、1990-1992年にわたしがM中で教えていたときの生徒です。今はもう機械・電気科のベテラン先生です。

10月14日（土）県中学校陸上競技選手権大会が開催され、W・Hさんが走高跳びで第4位に入賞しました。陸上専門の部が無い学校出身の入賞者です。本人はきっと陰で努力したに違いありません

## さかなのなみだ

休日に足を延ばして秋田市に行ってきました。目的は、秋田タワーに移設された、古いうどんの自動販売機を見に行くことでした。秋田タワーに着くとせっかくだからと、展望台まであがってみました。すると、そこには、“さかなクン”が描いた二枚の絵が置かれています。さかなクンについては多くの方が知っているでしょう。ハコフグの帽子をかぶって「ギョ、ギョ、ギョッ！」と言いながら、豊富な魚の知識と経験に裏付けられたトークをする人です。あるテレビの歌番組で、さかなクンが楽器のサクソを演奏していたのを見て、その多才さに驚かされました。何かのイベントで、ここ秋田タワーにやってきたみたいです。本物のさかなくんに逢ってみたかったと思いながら、二枚の絵を眺めてきました。

この絵を見て、いつだったかネットで見て気になっていたトイレトペーパーを思い出しました。

そのトイレトペーパーとは、ただのトイレトペーパーじゃないです。トイレトペーパーを伸ばしていくとこんなことが書いてあります。

秋田タワー展望台



『中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに「なんで？」と聞けませんでした。でも仲間はずれにされた子と、よくさかな釣りに行きました。学校から離れて、海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話を聞いてあげたり、励ましたりできなかったけれど、だれかが隣にいただけで安心できたのかもしれません。ぼくは変わりものですが、大自然の中、さかなに夢中になっていたら嫌なことも忘れまです。大切な友だちができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んでいたとしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。』



さかなクントイレットペーパー

これは、“さかなクン”が、中学時代に経験した、いじめについて書いているトイレットペーパーなのです。その著書「さかなのなみだ」で、さかなクンが言っています。

『メジナという魚は、狭い水槽に入ると、必ず1匹仲間はずしを行います。仲間はずれになった1匹をすくって、別の水槽にいれると、今度はまた、別のメジナが仲間はずれに遭う、それを繰り返す。でも、メジナは海に出ると、まったくそんなことをしないのです。』

いじめは、狭い集団や、狭い人間関係の中でこそ発生する、それは魚も人間も同じなんだと、さかなクンは、考えたのです。だからこそ、もっと将来のことを考えたり、世の中のことを考えたり、たくさんの人と出会ったり、挑戦することが中学時代には大切だと。合唱コンに向けてひとりピアノを練習したり、祭りで演奏して地域の人から感謝されたり、目標に向けて陸上練習を頑張ったり、これらは自分の狭い世界を広げるひとつの“きっかけ”です。

「僕は、音楽好きの人たちと出会ったことで、魚だけの世界から広い世界を知りました。」と、テレビの中のさかなクンは語っていました。さらに続けて・・・

「実は、高校に入学したとき『吹奏楽』部を『“水槽”楽』部と勘違いして入部したのがきっかけでした。」と。

出典：さかなのなみだ（リヨン社）

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。

[学校のトイレにいくつか置いておきます。](#)